

# 平成29年度 金沢市立中村町小学校学校経営計画

金沢市立中村町小学校  
校長 今村 外志美

## 1 学校経営の基本理念

子どもは、学校での多様な学びや経験等の教育活動を通して、**様々な力や心**を身に付ける。また、教師や仲間などの多くの人との**関わりを通して、社会の中で生きる基本**を学ぶことになる。そのような場としての学校には、**学校が大好きで元気な子ども達と笑顔と活力にあふれる教師達**がいることが大切である。「すこやかな児童像」の実現に向け、みんなが元気な学校をめざし、教育活動を進める。

教育活動を進めるにあたっては、**協力・協働による組織的な学校運営**を推進するとともに、地域に開かれた学校運営に努め、学校教育としての責任を果たし、矜持を持つ。

## 2 学校教育目標

### 「ぬくもりある学校での学び合う子の育成」

#### ◇めざす「すこやかな児童像」

- (す)進んでする子…主体的に判断し、行動する子
- (こ)根気のよい子…最後までやりぬく子
- (や)やさしい子…思いやりの心を持ち、自他を尊重する人間性豊かな子
- (か)考える子…よく見て、よく聴いて、よく考える創造性豊かな子

子ども一人一人のよさや可能性を最大限に引き出し、厳しさの中にも温かさがある「ぬくもりのある学校」において、子どもの心は豊かに育つ。そして、やる気と考える力を育み、互いに切磋琢磨しながら「学び合う」ことで、めざす「すこやかな児童像」が達成され、たくましく未来を自分の力で歩いていくことができる。

## 3 めざす児童像・めざす教師像・めざす学校像

めざす児童像	(す)進んでする子…主体的に判断し、行動する子 (こ)根気のよい子…最後までやりぬく子 (や)やさしい子…思いやりの心を持ち、自他を尊重する人間性豊かな子 (か)考える子…よく見て、よく聴いて、よく考える創造性豊かな子
めざす教師像	・崇高な使命感をもって教育活動を進める教師 ・組織の一員の自覚を持ち、目標をもって自己研鑽に励む教師 ・児童の心に寄り添い、共に感動する感性豊かな教師 ・保護者、地域と連携し、感謝の心をもつ教師
めざす学校像	・中村町小学校で育ったことを誇りに思える学校 ・児童も教職員も毎日、元気に活動できる学校 ・保護者、地域から信頼される学校 ・安全、安心な教育環境が整った学校

## 4 教育方針

- 「すこやかな児童像」の達成に向け、**全ての教育活動が有意義**であり、子どもにとってかけがえのない学びが展開されるよう教育を創造していく。
- 安全、安心で安定した学校生活になるよう、**あたりまえの日常**を大切にしながら緊張感を持ちながら教育活動を行っていく。
- 目の前の**子ども達のよさや可能性を最大限に引き出せる教師力**の育成に向け、人事評価等も活用しながら、人材育成を図っていく。
- 金沢型学校教育モデル実践支援事業**及び**地域学校協働活動事業**を推進し、学校の組織力や指導力を高め、地域の教育資源を活用しながら、学力向上につなげていく。
- コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)での“熟議”**を通して、学校・家庭・地域が一体となってより良い教育の推進を図る。

## 5 中期的目標

### ◇学校経営

#### (1) 学校力を高める

- ・学校への帰属意識をもち協働による職務遂行及び学校運営への参画意識(結んで繋ぐ)
- ・各主任が取組を焦点化し、リーダーシップを発揮する主任の機能化
- ・実態把握、計画、実践、評価によるねらいを明確にした教育活動
- ・取組の焦点化、具体化と学校評価システムを活用した改善策の実践と検証(小さな修正・継続、見える化)
- ・「報告・連絡・相談」の意識付けの徹底と「迅速・丁寧・誠実」な対応
- ・服務規律の遵守と心身の健康管理による活力ある教職員集団の形成

#### (2) 教師力を高める

- ・笑顔、元気、勇気のある活力に満ちた教師集団の形成
- ・教育者としての使命と責任を自覚し、自己研鑽に励む姿勢の育成
- ・学年を中心としたOJT体制の推進と校内研修の充実
- ・週案を活用しての教育課程経営力の向上(量的、質的な担保)
- ・子どもの「居場所」「つながり」を大切にした特別に支援の必要な子どもへのかかわり
- ・カウンセリングマインドによる児童理解・教育相談の充実
- ・生徒指導の三機能(共感的理解・自己存在感・自己決定)を基にした指導
- ・感嘆符！！の付く授業実践
- ・分かる、できる、楽しいの視点を大切にした問題解決型の授業づくり
- ・金沢型学習スタイル(方法)を基にした中村学習スタイルの授業づくり及び金沢型学習プログラム(内容)の実践
- ・日々の授業改善を通しての指導力の向上
- ・学校研究や校内研修の充実による授業力や指導力の向上
- ・要請訪問や外部講師招聘による授業力向上

### (3) 安全・安心な教育環境に努める

- ・ 整然とした学習環境の維持や教育効果のある掲示物など教育環境の充実
- ・ 好ましい人間関係や言葉遣いなど、児童を取り巻く言語環境の整備
- ・ 安全点検の徹底や保護者、地域と連携した危機管理体制の強化
- ・ 学校のいじめ防止基本方針に基づいた取組の確実な実践
- ・ 想定される様々な危機(学校事故、感染症、食物アレルギー等)に対しての未然防止(校内研修を含む)と初期対応

### ◇教育活動 ～子どもの人間力を高める～

#### (1) 学力の向上(意欲的な学びを創る)

- ・ 21世紀型能力(三つの資質・能力)の向上
  - ◇「何を理解しているか、何ができるか(知識・技能の習得)
  - ◇「理解していること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等の育成)
  - ◇「学びを人生や社会に生かそうとする(学びに向かう力・人間性等の涵養)
- ・ 日々の授業実践を通して子どもの心と力を育む
  - ◇金沢型学習スタイル(方法)を基にした中村学習スタイル、金沢型学習プログラム(内容)に基づく授業実践
  - ◇分かる、できる、楽しいの視点を大切にした問題解決型の授業実践
  - ◇生徒指導の三機能を生かした授業実践
  - ◇集団で学ぶことよさや楽しさの実感した授業実践
- ・ 家庭学習や朝学習、補充学習等の確実な実施による基礎基本の定着及び多読による語彙力等の育成

#### (2) 心身ともに健康な身体づくり

- ・ 基本的な生活習慣の定着に向けた取組の充実と家庭との連携
- ・ 体育の授業での運動量の確保など基礎的な体力の向上
- ・ 健康、体力面の課題の明確化と方策の共通実践

#### (3) 豊かな心と社会性の育成

- ・ 互いのよさを認め合える学校・学級集団
- ・ 読書活動の量的、質的な充実と授業での学校図書館の活用
- ・ 児童の主体性や自浄作用を促す活動(児童会活動の活性化)
- ・ 道徳教育、人権教育の計画的な実践
- ・ 感性に働きかける情操教育の充実
- ・ カウンセリングマインドによる児童理解・相談体制の充実

#### (4) 家庭、地域と連携した信頼される学校づくり

- ・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の定着と熟議
- ・ 地域の人、もの、ことなどを活用した教育活動の推進
- ・ 学校公開と学校便りやホームページ等を活用した教育活動の積極的な情報発信
- ・ 保護者アンケート等の学校評価への活用と結果の積極的な公開
- ・ 保護者との日常的なコミュニケーションによる信頼関係の構築
- ・ 基本的な生活習慣の定着、家庭学習や家庭読書の習慣化に向けた家庭との取組
- ・ 地域、保護者との連携した防災訓練等の実施

## 6 短期的目標(今年度)

### ◇学校経営

上記中期目標の(1)学校力を高める(2)教師力を高める(3)安全・安心な教育環境に努めるについては、短期目標も同様と捉える。

### ◇教育活動

#### (1) 互いのよさを認め合える学校・学級集団づくり

- ・心が通い合うあいさつと相手や場に応じた気持ちのよい言葉遣いができるように年間を通して取り組む。
- ・互いのよさを認め合える場や学年集団の一体感を醸成するよう、場を意図的・計画的に設定する。
- ・いじめ等に対して「ならぬものはならぬ」という毅然とした態度で臨む。
- ・学校生活に起因する不登校児は出さないという心持ちで指導する。
- ・子ども達の自らの自浄作用を生み出す児童会活動や自分たちの学校・学級をよりよくするための児童会活動を実践する。
- ・清掃指導によるきれいな校舎、学びが分かる掲示、他学年のよりよい作品掲示や今月の歌などの情操的環境を充実させる。
- ・体験だけでなく、育てたい力を明確にした学校行事を立案し実践する。

#### (2) 21世紀型能力(資質・能力)を高める授業づくり

- ・つけたい力を明確にし、金沢ベーシックカリキュラムをもとに中村町小の特色ある内容を組み入れた教育課程を編成し、具体的な方策で学力の向上を図る
- ・「やる気」を引き出すため、学習意欲向上の工夫と課題意識醸成の工夫をする。
- ・「考える力」を育てるため、自分で考える場や仲間と考え合う場を設定する。
- ・手引き等を活用したよりよい学習習慣、生活習慣の定着をめざし、基礎的・基本的な学習内容の習熟に向け、「繰り返すこと」「振り返ること」を大切に指導する。
- ・単元末におけるつけたい力を把握するために、客観的な評価も取り入れた状況把握に努め、きめ細かな見取りと補充指導を行う。
- ・学校図書館司書を計画的に活用し学校図書館の積極的な利用を進めるとともに、朝読書、図書ボランティアによる読み聞かせ等に取り組む。

(年間 1, 2年80冊、3, 4年75冊、5, 6年70冊読書達成

及び段階的な意欲付けの取組等)

#### (3) 心身ともに健康で感性をみがく教育活動や教育環境づくり

- ・道徳の授業実践や音楽、図画工作への全校的な取組をする。
- ・体力テストの結果分析をもとに体育科の授業改善と環境整備を行い、年間を見通した体力づくりを進める。
- ・校内掲示や教室掲示などの教育環境の充実に努める。
- ・読書活動や家族とのコミュニケーションの促進を図る。(ふれあい読書活動、23日の読書の日の取組)

#### (4) 児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- ・特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を組織し、関係機関との連携を図る
- ・個々の教育支援計画、個別の指導計画を作成して支援を行い、定期的かつ必要に応じて校内委員会を開催し、組織的な対応を行う。
- ・特別支援学級では、通常学級との関わりを大切にし、共に育てる。

#### (5) 信頼され、開かれた学校をめざした家庭、地域との連携

- ・コミュニティ・スクールによる熟議の定着により学校と地域との連携強化を図る。
- ・交通推進隊や安全サポート隊と連携し子どもの安全に万全を期す。
- ・登下校(交通事故、不審者)、校内のけが防止等の安全教育の徹底を図る。
- ・生活安全、交通安全、災害安全等での子どもの危険予知や危険回避能力を高める。
- ・災害時対応等を考慮した緊急連絡網等その他の対策の見直しを図る。
- ・保護者への引き渡し訓練や緊急時の集団登校を組み入れた訓練を実践する。
- ・自分の命は自分で守ろうとする態度を育成する防災教育に取り組む。

#### (6) 市の施策への積極的な取組

##### ◇コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の定着

“学校が元気に！地域が元気に！”

- ・学校運営協議会での熟議及び改善策の実践、検証等のPDCAサイクルを実行する。
- ・情報共有や相互理解、信頼関係構築等による学校と地域との連携強化を図る。
- ・保護者、地域住民の学校教育への参画意識の醸成と教育活動への参加を促す。

##### ◇地域学校協働活動事業(学校支援ボランティア)の取組

- ・学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整える。
- ・地域の人との活動を通して学力向上等をめざすとともに、社会性やコミュニケーション能力を育む。

##### ◇金沢型学校教育モデル実践支援事業の取組

- ・「自分でみんなで考える金沢型学習スタイル」に基づく学習の実践研究を行う。
- ・学校研究の重点を柱とした授業実践及び授業力向上の日常的な取組を行う。

##### ◇ユネスコスクールの取組

- ・「金沢ふるさと学習」を含んだ生活科、総合的な学習の時間の充実を図る。
- ・郷土を知り、郷土に誇りを持つことができるよう、地域性を生かした教育活動を行うとともに、地域の教育力を積極的に活用する。

##### ◇金沢型小中一貫教育の推進

- ・「学びの基本」の共通実践や各教科における系統性を踏まえ、学び合いの良さを実感できる手だてを追究した授業実践をする。(小中職員相互の授業参観の実施)
- ・新しい視点を取り入れた児童・生徒の交流活動を実践する。(iPSサミット、金沢「絆」の日等の共通の取組、作品交流)